

担 当 課： 阪神高速道路(株) 計画部調査課
担当課長名： 河野 康史

事業名	大阪府道高速大和川線		事業区分	都市高速道路	事業主体	大阪府、堺市 阪神高速道路株式会社				
起終点	自：堺市堺区築港八幡町		至：松原市三宅中		延長	9.7km				
事業概要										
大阪府道高速大和川線は、阪神高速4号湾岸線（三宝JCT）と14号松原線（三宅JCT）とを接続する延長9.7kmの都市高速道路である。平成25年3月に三宅西～三宅JCT間、平成29年1月に三宝JCT～鉄砲間、令和2年3月に鉄砲～三宅西間が供用された。										
事業の目的・必要性										
本路線は大阪都市再生環状道路の一部を構成し、交通処理能力強化およびネットワークのリダンダンシー向上や、大阪都心部の慢性的な渋滞の緩和、沿道環境の改善に寄与する路線である。また、臨海部と内陸部とを接続することにより、臨海部から広域ネットワークへのアクセス機能、大阪府南部地域における東西方向の道路機能の向上が図られる。										
事業概要図										
										
事業の 効果等	事業期間	事業化年度	H11年度	用地着手	H11年度	供用年	(前回再評価) R2年度	変動	1.00倍	
		都市計画決定	H7年度 (H16・H19年度変更)	工事着手	H18年度		(実績) R2年度			
	事業費	計画時 ※1	(名目値)	4,501億円	実績	(名目値)	4,367億円	変動	0.97倍	
			(実質値)	4,589億円		(実質値)	4,435億円			
	交通量 (当該路線)	計画時 ※1	33,500台/日 (H42年) ※2		実績	33,400台/日 (R3年) ※2		変動	1.00倍	
	旅行速度向上 (供用前現道→供用後現道)		60.7 → 65.6 km/h (供用前年次) R1年 (供用後年次) R3年		交通事故減少 (供用前現道→供用後現道)		23 → 15件/億台km (供用前年次) H27～R2年 (供用後年次) R3～R5年			
	費用便益 分析結果 (当初) ※1	B／C	1.9	総費用	5,328億円	総便益	9,943億円	基準年		
				事業費	4,909億円	走行時間短縮便益	9,124億円	平成27年		
				維持管理費	419億円	走行経費減少便益	682億円			
交通事故減少便益				137億円						
費用便益 分析結果 (事後)	B／C	1.8	総費用	8,168億円	総便益	14,326億円	基準年			
			事業費	7,482億円	走行時間短縮便益	13,418億円	令和6年			
			維持管理費	686億円	走行経費減少便益	820億円				
			交通事故減少便益	88億円						
事業遅延によるコスト増			費用増加額	— 億円	便益減少額	— 億円				
事業遅延の理由			—							

	交通量変動の理由	
	—	
	客観的評価指標に対応する事後評価項目	
	・大和川線の利用状況および都心部周辺における高速道路上の交通負荷分散が図られた。 ・都心通過時の所要時間短縮・並行する一般道路の混雑が緩和された。 ・喜連瓜破付近の大規模更新工事や事故時等における迂回路として機能している。 ・沿線では物流施設等が増加、道路貨物運送業等の従業者数も増加し、地域の物流効率化に寄与した。	
事業による環境変化	その他評価すべきと判断した項目	
	・特になし	
	環境影響評価に対応する項目	
	・大和川線周辺の大気汚染常時観測局における二酸化窒素・浮遊粒子状物質の観測結果は、環境基準を満足する結果となっている。	
	その他評価すべきと判断した項目	
	—	
	事業評価監視委員会の意見	
	対応方針（案）のとおり了承	
	事業を巡る社会経済情勢等の変化	
	・大阪府の主な道路（高速道路・一般国道・主要地方道・一般府道）の走行台キロはH17の47,498千台 km/12h からR3の43,093千台 km/12h へと約9%減少。	
	今後の事業評価の必要性及び改善措置の必要性	
	費用対効果分析の結果や現時点における事業効果発現状況等から、本事業については整備効果が得られており、今後の事後評価及び改善措置の必要性はないものとする。	
	計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性	
	同種事業の計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性も認められないものとする。	
	特記事項	
	特になし	

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※1 事前値は平成27年度に実施した大阪府道高速大和川線の事業再評価結果をもとに記載。

※2 大和川線の常磐～天美間の値、事前値はH42（R12）将来交通量推計結果、実績値はR3.10平日平均交通量